

放課後等デイサービス ガイドライン 自己評価調査集計結果 【平成30年11月実施】

名張育成会 ゆうら

チェック項目		はい	いいえ	どちらとも いえない	改善目標・努力している点
環境 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	建物の老朽化が進んでいる状況ではありますが、子どもの状況やメンバー構成、活動、季節に合わせて、それぞれが安全に安心して過ごすことができるように環境整備を整えるようにしています。老朽化については、長期的な計画を立てて取組むよう努力いたします。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	0	2	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	5	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル【目標設定と振り返り】に広く職員が参画しているか	8	0	0	第三者による外部評価は受けておりませんが、法人内の苦情受付体制における第三者委員による事業所訪問や評価、アドバイスを受けています。課題や改善が必要なことに気が生まれたときには職員全員で取組むことができるように情報の共有やタイムリーな動きを心がけて取組んでいます。子どもや保護者様の意見や意向の把握力の向上に努め、視点を広げた業務改善を行っていきけるような取り組みを行います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	7	0	1	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	11	0	
	8 職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	1	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	7	0	1	活動については、月毎に活動案を作成し職員間で共有すると共に日々、利用児に合わせた活動ができるように意見交換、共有、準備を行いながら取組んでいます。長期休暇においては、特に季節感が味わうことができる活動の提案を行い、固定化しないようにしています。また、定期的なモニタリング、個別支援計画の見直しは、各職員の意見を出し合い話し合いをする機会を必ず持ち、支援方針を共有して支援をしています。より、それぞれの子どもが自発的な遊びに繋がっていくように、活動の設定や支援を行っていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	1	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めて細やかに設定して支援しているか	8	0	3	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	8	0	3	
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	
	18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	0	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	7	0	0	児童発達支援センターや相談支援事業所とは継続して密に連携を取ることができています。学校との連携においては、日常の送迎時の引継ぎや長期休暇などに先生に見学に来ていただいたり、特別支援学校の見学会に参加しています。より、学校との連携を深めていけるように取組んでいきます。
	21	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	8	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	対象利用児なし			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業の間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	6	0	2	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	1	
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0	6	2	
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	圏域内に子どもの部会なし			
	28	日ごろからこどもの情報を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	2	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	6	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	1	利用時の様子については、お迎えの際にお伝えしたり面談の機会を設定するようにはしていますが、十分に対応し共有できているという状況ではありません。今後、保護者様が話したい、様子を聞きたい時に面談する機会を持てる仕組みづくりを作りますようにします。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	2	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	5	3	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	2	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	7	0	1	
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通情報伝達のための配慮をしているか	6	1	1	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	
非常時等の対応	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	2	法人に設置している委員会に参画し、事故防止、権利擁護、保健衛生の取り組みを行っています。より、安心して利用していただけるようにマニュアルの整備を行い必要な内容は保護者様と共有していけるように取組んでいきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか	7	0	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか	対象児なし			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	1	